

講座展開例 催眠商法

■ テーマ 鍛えよう、消費者力 ～催眠商法のトラブルを事例として～

- 講座の目的
- 催眠商法でのトラブル事例をもとに、消費者に求められる気づく・断る・相談する力、周囲の見守り方を身に付ける。

■ 展開例

時間	主な活動	指導上の留意点	使用する教材・資料
導入 (7分)	1. 高齢者に多い消費者トラブルについて <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者に多い消費者トラブルについて、資料をもとに確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の消費者トラブル(相談)の特徴として、健康食品、住宅修理、通信や金融に関するものが多いことを伝える。 ● 被害に遭っていることに気づきにくい、お金や健康や孤独の不安を抱えていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブル概況」投影用スライド P.10,11 ● ワークシート
展開① (8分)	2. 診断セルフチェックに取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● セルフチェックを行った結果に基づき、「消費者力」に関する自己診断を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分は大丈夫と以为ていても、誰でもトラブルに遭う可能性があることに気づかせる。 ● 「消費者力」を身に付けることが、自身の被害を防止するとともに、周囲や社会のトラブル・被害を減少させることにつながることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 診断セルフチェック ● ワークシート
展開② (25分)	3. 体験型教材に取り組む <ul style="list-style-type: none"> ● 事例動画を視聴し(約7分)、主人公の行動の問題点をワークシートに記入する。 ● 復習動画を視聴し(約5分)、選択した場面で取りがちな対応と望ましい対応について考える。 ● 解説動画を視聴し(約7分)、事例を通じて学んだことをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事例動画を視聴して、主人公のどの対応に問題があったのか、どのような点に気をつければ良かったのかを確認させる。 ● 復習動画の選択場面(気づく、断る、相談する)で、自分ごととして考えさせ、一人ですぐに決めないという点が重要であることを理解させる。 ● 解説動画で、事例を通じて考えたこと、今後気をつけることを、展開①の自己診断も踏まえてまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画教材(催眠商法) ● VRゴーグル ● ワークシート
まとめ (10分)	4. 学習のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ● トラブルに遭いそうになったときの対応について確認し、ワークシートに記入する。 ● 家族・知人の様子がおかしかったとき、トラブルに遭いそうなとき、自分が周囲に対して行えることを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「消費者トラブルに遭いそうになったら」を確認することで、展開②の内容を復習するとともに、深めさせる。 ● 「自分を守る」ことに加え、周囲への働きかけとして何ができるかを考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.1-3 ● ワークシート ● 「相談先・周囲への働きかけ」投影用スライド P.4-14